

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

3-③

施策

持続的に発展する社会形成に向けて資源を有効に活用する循環型社会の実現を図る

担当部局

環境リサイクル局



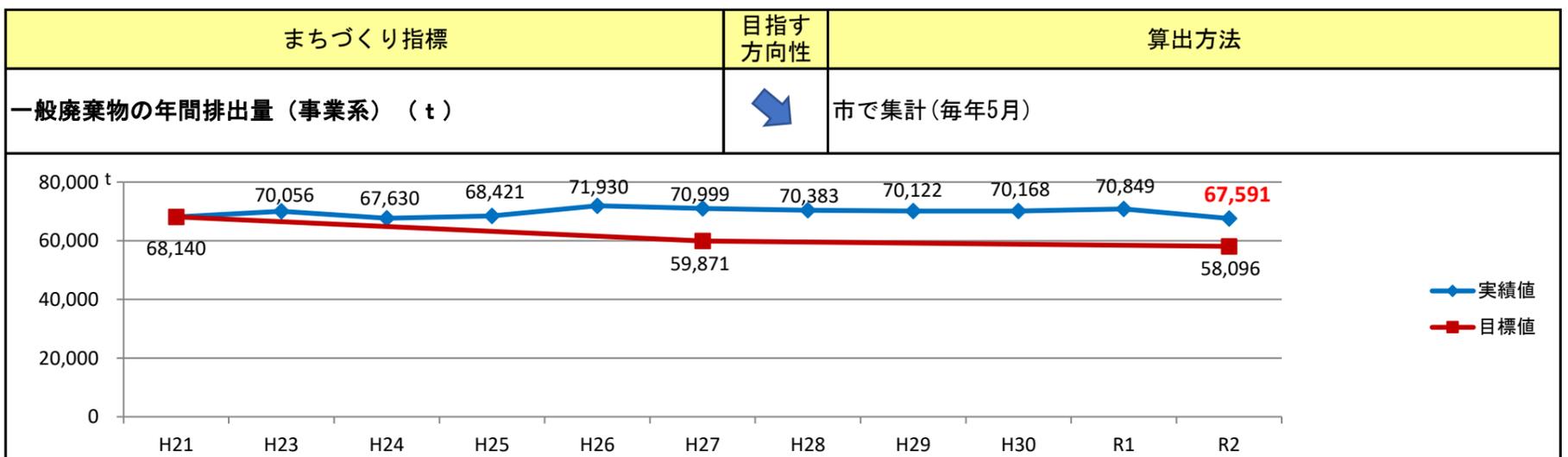
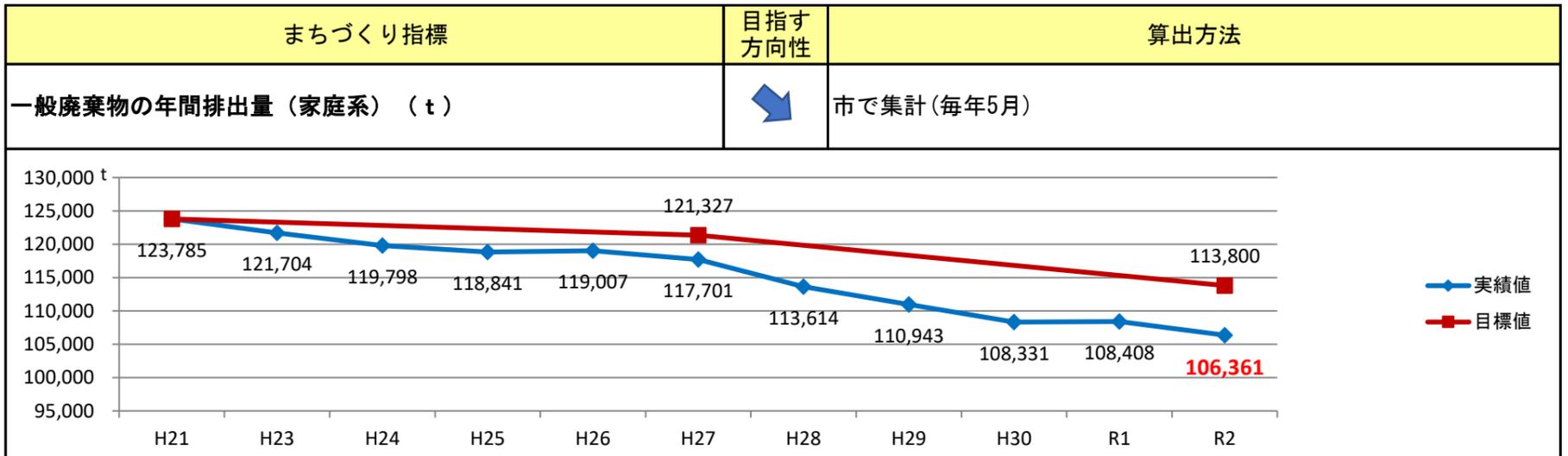
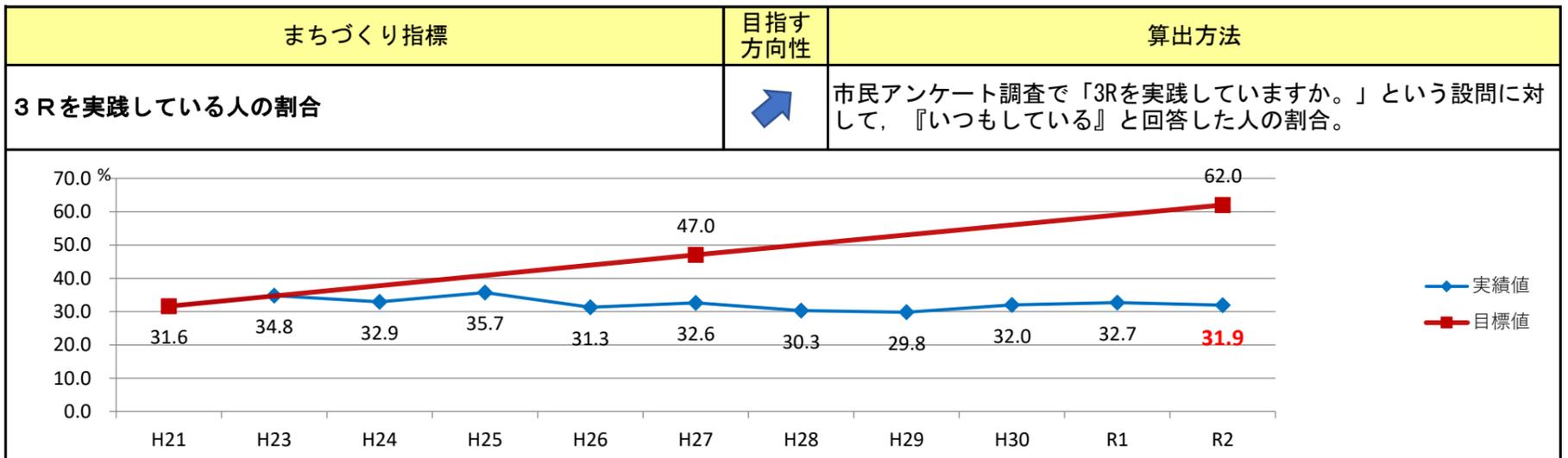
【快 適】

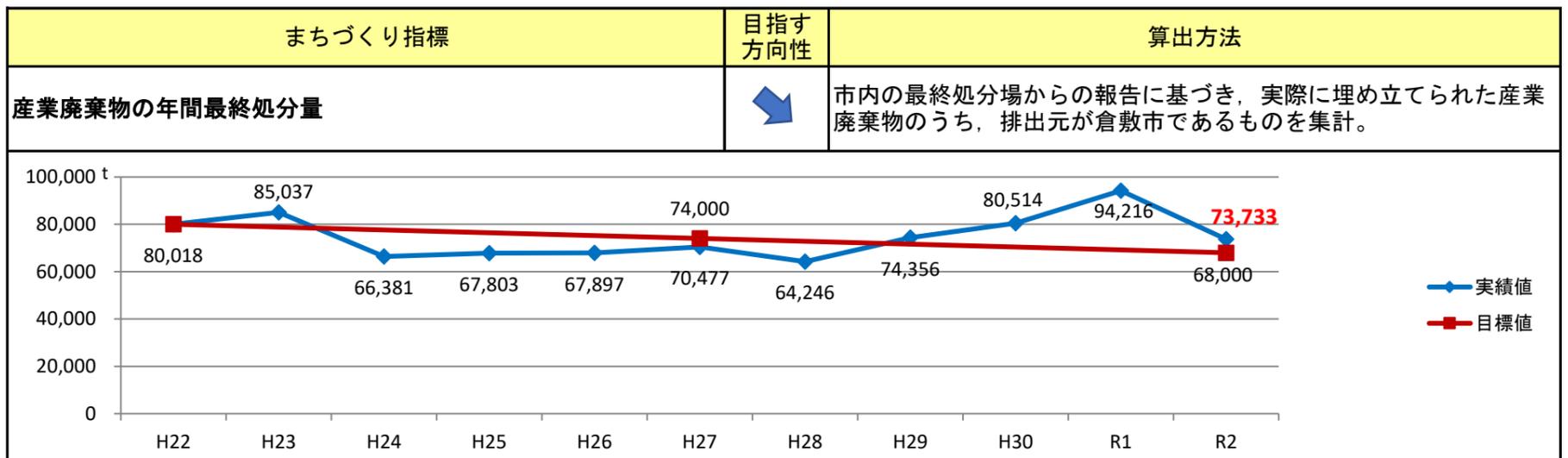
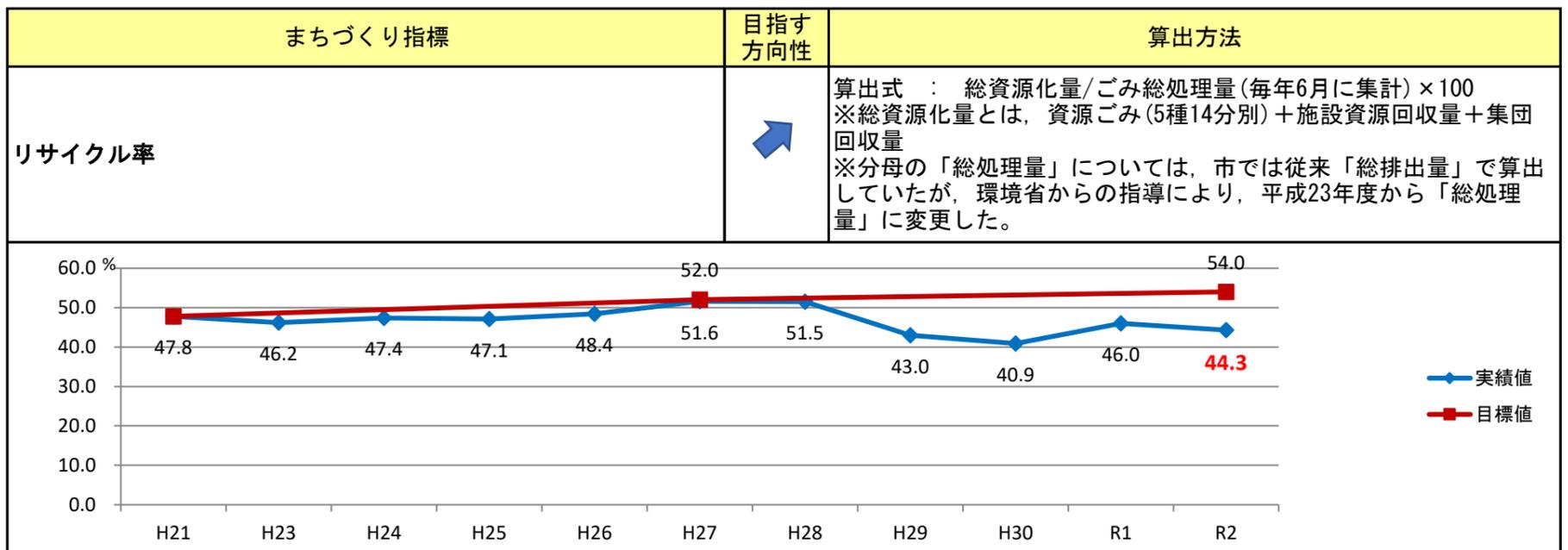
めざすまちの姿 リデュース（ごみの発生抑制）， リユース（再使用）， リサイクル（ごみの再生利用）が徹底され， 循環型社会が形成されている

市の基本方針

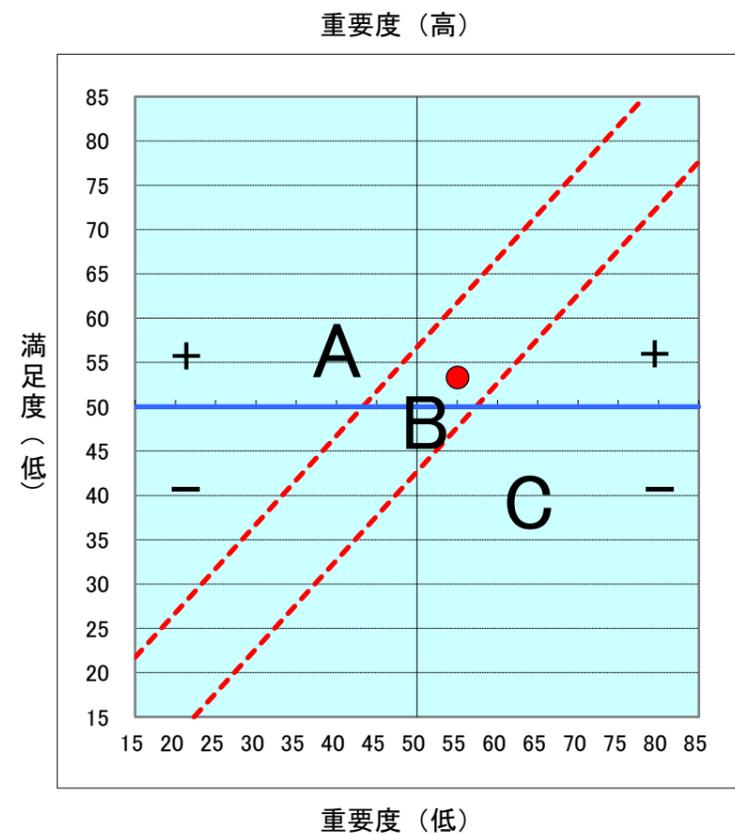
- 市民や事業者に対し， ごみの徹底抑制に向けた啓発に努めるとともに， 生産， 消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制への取組を支援します。
- 廃棄物の減量化・資源化及び適正処理に努め， 廃棄物の排出に伴う環境負荷の少ないまちをめざします。
- リデュース（ごみの発生抑制）， リユース（再使用）， リサイクル（ごみの再生利用）の3Rをより一歩進め， 不必要なものを購入しない（Refuseリフューズ）， 再生品の積極的使用（Regenerateリジェネレート）を加えた5Rの推進に努めます。
- 事業活動に伴い生じる産業廃棄物の排出抑制， 循環的利用及び適正処理の推進を図ります。

数値目標





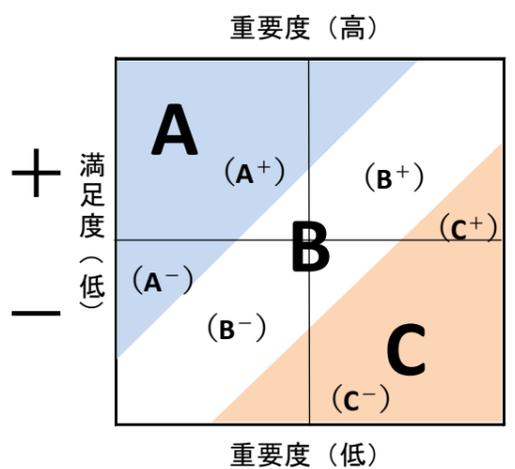
市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁺	53.27	55.07

●重要度に見合った満足度が得られている (B)
●重要度が平均値より高い (+)

【グラフの見方】



- A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B : 重要度に見合った満足度が得られている領域
 C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割 (3×2領域)
 + : 重要度が平均値より高い部分
 - : 重要度が平均値より低い部分
 A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻
- A⁺ : 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	生ごみ処理容器購入費補助事業	(Ⅰ) 生ごみの再利用を図り、リサイクル意識の高揚及びごみ減量を促進する。 (Ⅱ) 電気式処理機119件、コンポスト130件、ぼかし容器71件の購入に対して補助金を交付した。 (Ⅲ) 販売店等にも協力を求めるなど、広く制度の周知を図りながら継続して実施する。	3,243
	ごみの適正処理・減量・リサイクル啓発事業	(Ⅰ) ごみの適正処理・減量・リサイクルに関心を持つ方を増加させる。 (Ⅱ) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「リサイクルフェア」は中止。食育フェア等の関連イベントに出展、小中学生から募集したポスター・標語の展示を行った。 (Ⅲ) 感染症予防対策を講じながら内容を充実させ、継続して実施する。	4,828
	環境学習推進事業(再掲)	(Ⅰ) 市民に環境問題に関心を持ち、理解を深めてもらう (Ⅱ) 環境NPO・企業等と連携・協力し、座学形式・体験形式など各種講座を22講座実施し、295人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,615
	環境学習協働推進事業(再掲)	(Ⅰ) 専門的知見を有する環境NPOと協働による環境学習の推進 (Ⅱ) 子ども向けから一般向けを含め3事業を実施し、30人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	190
	ごみ減量化協力団体報奨金事業	(Ⅰ) ごみの減量と資源ごみの再資源化を促進する。 (Ⅱ) 町内会・こども会・老人会等の957団体が事業を実施し、9,356トンの資源ごみを回収した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	56,648
	ペットボトル回収事業	(Ⅰ) ペットボトルを選別・圧縮し、再商品化事業者で資源の有効活用をする。 (Ⅱ) 再商品化事業者へ引渡すペットボトルを、リサイクル協力店93店舗から394トン、ごみステーションから268トンを回収した。 (Ⅲ) リサイクル協力店の拡充を図るなど、継続して実施する。	77,367
	水島清掃工場管理運営事業	(Ⅰ) 安全で安定したごみ処理を行う。 (Ⅱ) 倉敷市の可燃ごみ85,167トンを焼却処理するとともに、発生する熱を使った発電により、工場内の電力をまかなったほか、余剰電力(19,045MWh)を売電することにより、エネルギーの有効利用を行った。 (Ⅲ) 管理運営委託により、適正な運営を継続して実施する。	638,738
	資源循環型廃棄物処理施設運営事業	(Ⅰ) 安全で安定したごみ処理及び廃棄物の再資源化を行う。 (Ⅱ) 倉敷市が搬入する一般廃棄物等(可燃ごみ、焼却灰、下水汚泥69,900トン)と水島エコワークス(株)の独自事業である産業廃棄物62,507トンを受け入れ、スラグ等に再資源化し、循環型社会の推進に貢献した。 (Ⅲ) 定期的なモニタリングにより、安心して安定的な施設の稼働確認を継続して実施する。	2,154,179
都	白楽町ごみ焼却処理場等解体・整備事業	(Ⅰ) 白楽町ごみ焼却処理場を解体撤去し、搬入ごみの受入施設の整備を行う。 (Ⅱ) 白楽町ごみ焼却処理場等解体・施設整備工事を実施した。 (Ⅲ) 白楽町ごみ焼却処理場等の解体撤去及び自己搬入ごみの受入施設の整備が完了した。	1,005,453
都	(仮称)白楽町汚泥再生処理センター等整備事業	(Ⅰ) 白楽町し尿処理場を解体撤去し、跡地に新施設を整備する。 (Ⅱ) 建設工事の入札・契約関連書類を作成し、入札公告から事業者の選定、契約までを行った。 (Ⅲ) 設計施工一括発注の建設工事にて、新施設の実施設計及び場内の不用施設の撤去等を継続して実施する。	7,084
都	(仮称)倉敷西部クリーンセンター整備事業	(Ⅰ) 一般廃棄物を安定的に処理するため、新施設を整備する。 (Ⅱ) DBO事業の契約を締結し、実施設計とその監理業務に取りかかった。 (Ⅲ) 令和3年度中旬には工事着手し、その後もプラントの実施設計と工事監理を継続して実施する。	34,996
	環境衛生改善事業費補助金交付事業	(Ⅰ) ごみステーション整備等の事業を補助し、環境衛生の改善を図る。 (Ⅱ) ごみステーション整備91件、共同清掃用器具の購入114件等について補助を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	16,126